

■After 建築名称 下段: 英語名	モンテマルチャーニ美術館 Centrale Montemartini Museum		
建築用途	大分類 展示施設	小分類 博物館	
改修設計者	Paolo Nervi	URL	
所在地	イタリア、ローマ	Google Map	
改修年	1997		撮影者提供者 柳沢伸也 (2005)
建築規模			概要 after ローマ初の発電所を産業遺産として保存し、博物館として転用。1912年に建てられた建物には、カピトリノ博物館のコレクションであるローマ時代の彫刻、モザイク、考古学的遺物が展示されている。
掲載書誌			
賞・選定			
■Before 建築名称	Centrale Montemartini		概要 before モンテマルチャーニ発電所は、1912年に建設され街灯や都市生活者への電力供給を行い、1945年の第2次世界大戦の戦火も免れた数少ない建物である。約半世紀にわたる活動の後、1963年に廃止された。
建築用途	大分類 展示施設	小分類 博物館	
■写真 Before	After 外観は旧発電所時代のままの姿		After 発電所の面影の残る古代彫刻展示室
			
撮影者提供者	撮影者提供者 柳沢伸也 (2005)		撮影者提供者 柳沢伸也 (2005)
■リノベーション内容	キーワード 用途変更、外観保存、対比、痕跡	内容 オスティエンセ地区は、テスタッチョ地区の南側に隣接する3角形の工業地域。テベレ川に隣接し、鉄道駅にも近かったことから、ローマの発展に大きく寄与した。モンテマルチャーニ発電所は、1912年に建設され街灯や都市生活者への電力供給を行い、1945年の第2次世界大戦の戦火も免れた数少ない建物である。半世紀にわたる活動の後、老朽化により1963年に廃止。その後、一時取り壊しも検討されたが、所有者のACEA(エネルギー供給公社)により、保存修復が選択された。発電所のエンジンルームとボイラー室は展示スペースに転用され、残りの部屋はオフィス、研究所、倉庫などに活用されている。本博物館は、考古学分野と産業遺産分野とが並置された特徴的な展示型式を採用している。2016年には、旧ボイラー室2号室が展示スペースに改修され拡張発展を続けている。建築的な介入手法としては、既存を生かした小規模改修にとどめ、旧発電所の空間的特徴を保っている。	
■備考	カピトリノ美術館の分館として機能している。右は、巨大なタービンの前に対比して置かれた彫像。		
■作成者 氏名/所属	柳沢伸也/JIA再生部会		管理者 記載 SY-027